

ギャラリーあしやシューレでは、2021年9月5日（日）より9月26日（日）まで、岩名泰岳と西村涼による二人展を開催致します。

Pulse

岩名泰岳 | 西村 涼 Yasutake Iwana | Ryo Nishimura

2021年9月5日（日） - 9月26日（日）

開廊時間：日曜日-水曜日 11:00-17:00 / 土曜日予約制 休廊日：木曜日・金曜日

Galerie Ashiya Schule ギャラリーあしやシューレ

〒659 0016 兵庫県芦屋市親王塚町3-11

Tel/Fax : 0797-20-6629

E-mail : info@ashiyaschule.com

URL : <http://ashiyaschule.com>



岩名泰岳「ながれ 2021-01」2021 油彩、キャンパス 60.6×72.7cm

単純化された丸い形は、石にも見えるが卵のようにも見えます。土の中から、あるいは遠い過去からこちらを見つめているような作品は、不思議な有機性を持ちながら異形の生命体のように佇んでいます。

岩名泰岳の作品の変遷を辿るとき、一見したところ、年々大きく変化しているように見えます。ギャラリーあしやシューレで開催された初の個展(2013)では、間にごめく獣や、森にねむる花をモチーフに、温かくも謎めいた神秘的な翳りのストーリーを展開しました。

その後、映像作家・宮永亮との二人展（2015 ギャラリーあしやシューレ）では、宮永の静寂な映像の上に、力強く生命力に溢れた色調を絶妙に重ね合わせました。

ギャラリーあしやシューレでの二度目の個展(2017)では、岩名の活動拠点である三重県伊賀市の島ヶ原で、1927年当時の若者が中心となって発行していた文集『セツノ華』文面からインスピレーションを受け、村の原風景や祈りの姿を色彩豊かに描き出しました。

これからも変わり続けるであろう岩名作品ですが、その源流となるものは、制作拠点とする島ヶ原の村に潜在するナラティブと、地中深くにごめく生命体を通して、幻想の中に浮かび上がる記憶と思索を抽象化していく行為にあります。

岩名泰岳は1987年三重県伊賀上野生まれ。2010年に成安造形大学造形学部造形美術科を卒業後、2012年までドイツ国立デュッセルドルフ芸術アカデミーで研究生として学び、帰国後、村民芸術を提唱する「蜜の木」活動を開始。その後、国内外で意欲的な活動を続けています。

/ 岩名泰岳 /

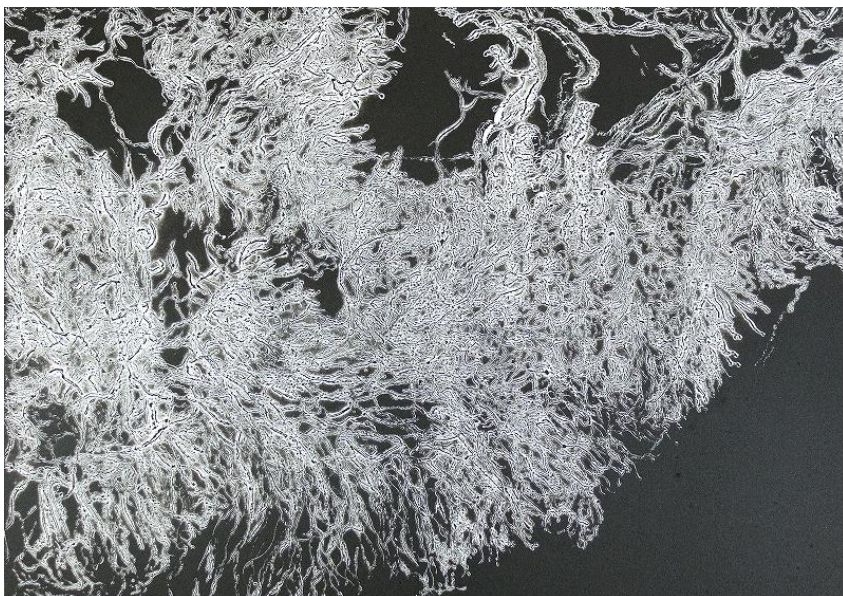
疫病が蔓延してだれにも会えなくなった年、自分の暮らす集落を歩くようになった。空の静けさの下、くずれた家や昔ここにいただれかの名前を刻んだ丸い石が転々とあり、これが私たちの生きる世界のひとつなのだと思った。その光景を絵に記すようになった。

現代の版表現は、何かを仲介させた間接表現であることに新たな可能性が追求され、その表現手段は多様化しています。表現領域の限界に挑む作品が主流となりつつある現代において、西村涼は銅板に金属棒で直接彫り出すというシンプルな方法にこだわり、ドライポイントやフロッタージュなどの表現技法で作品を制作しています。

形をもたない自然の移ろいを、光や水が流れるような線の軌跡に置き換え、生命の永続性や流動性といったイメージを、細かい無数の線で表します。

それは、植物の細胞分裂などの有機的構造や、水の中に無数に広がるインクの流れ、空気に溶け込む煙の軌跡など、常に形が変わり続けるものの一瞬を捉える試みです。

柔らかくでありながら強靱な線の軌跡には、人と自然との融合の中で「生命の循環」や「人間の在り方」を鋭く見つめる、西村の一貫した世界観が伺われます。



西村 涼 「浮遊する脈1」 2021 ドライポイント / シリウス紙、銅版インク 372×526mm

西村 涼は 1993 年京都生まれ。京都精華大学卒業後、京都市立芸術大学で修士課程修了。在学中より国内外で幅広い活躍を続け、2020 年からは京都府亀岡市を拠点に意欲的な制作活動を行っています。

／西村 涼／

近所の河原を歩いていると小川のせせらぎ、雨が水面に落ちる音、木々のさざめきが聞こえてくる。辺りを見渡すと草木が生い茂り、太陽の光が降り注ぎ、雲は流れていく。

日常は、多くのありふれたものから成り立っている。それらは、私の生きるという物語の欠片であると同時に、他者の物語の欠片でもある。更に言うと、私達が生まれる前から積み重ねられてきた壮大な生の物語でもある。

地元の記憶や伝承を再構築し、存在することの具現化を試みる岩名泰岳。生命体に内在する物語の共通項や関係性をストレートな手段で版表現に移し替える西村涼。本展では、感染症の蔓延という困難な社会状況下で、不可視なものへ想像を巡らせ、社会関係のあり方を捉え直す試みとして、二人の作家が向き合います。ご高覧のほど、よろしくお願いいたします。

岩名泰岳 Yasutake Iwana

- 1987 三重県生まれ
- 2004 元永定正に絵画を学ぶ
- 2010 成安造形大学造形学部造形美術科洋画クラス卒業
- 2010-2012 デュッセルドルフ芸術アカデミー ジークフリート・アンツィンガー教室で学ぶ
- 2013 島ヶ原村民芸術「蜜の木」(現在の<蜜ノ木>) 結成

主な個展

- 2021 みんなでこわしたものの／タグチファインアート、東京
- 2019 道標／タグチファインアート、東京
- 2017 セツノ華より／ギャラリーあしやシューレ、兵庫
巡礼／タグチファインアート、東京
- 2016 オイテケボリノキミニセキヲ／ギャラリーほそかわ、大阪
- 2015 観音山／Mizuho Oshiro ギャラリー、鹿児島
観音山／MA2 Gallery、東京
- 2014 土の骨・星の花／SENSART ギャラリー、三重
- 2013 田ノ獣 森ノ花／ギャラリーあしやシューレ、兵庫
- 2012 Universum／reinraum e.V.、デュッセルドルフ、ドイツ

主なグループ展

- 2020 Summertime Blues 2020／CADAN 有楽町、東京
#StayMuseum ステイミュージアム／三重県立美術館
- 2019 青森 EARTH2019:いのち耕す場所／青森県立美術館
- 2018 くずれる家／Iwana_Mitsunoki Studio ほか、三重
絵の旅 - 私の風景 私たちの風景／MA2 Gallery、東京
- 2017 場／愛知県美術館ギャラリーJ室
- 2016 日本の抽象絵画／タグチファインアート、東京
- 2015 kiseki -キセキ-／観音寺客殿、三重
Lamellar／ギャラリーあしやシューレ、兵庫
三重の新世代 2015／三重県立美術館
- 2014 地の糧 -その誘惑-／2kw ギャラリー、大阪
奈良町家の芸術祭 HANARART／工場跡、奈良
蜜ノ木-祭の後の異人たち-／旧アトリエ河口、三重
- 2013 wordmaking “100年前の空より”／2kw ギャラリー、大阪
郵便夫と森の星／旧アトリエ河口、三重
吹き寄せの 落ち葉の中の ひとひらの／Gallery OUT of PLACE、奈良
KISS THE HEART #2／伊勢丹新宿、東京
- 2012 2つの森 Zwei Wälder／ギャラリーDen mym、京都
私の場所 私たちの風景／MA2 Gallery、東京
Back from Japan／HPZ-Stiftung、デュッセルドルフ、ドイツ
- 2011 奈良・町家の芸術祭 HANARART／ならまち各所、奈良
- 2010 SCHAULAGER2010／CON-SUM、デュッセルドルフ、ドイツ
アートアワードトーキョー丸の内 2010／行幸地下ギャラリー、東京

受賞

- 2020 第19回三重県文化賞文化新人賞
- 2016 第1回三重テレビ大賞
- 2010 アートアワードトーキョー丸の内 2010 準グランプリ

Public Collection

三重県立美術館
タグチアートコレクション

西村 涼 Ryo Nishimura

- 2016 京都精華大学芸術学部メディア造形学科版画コース卒業
2018 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻版画修了

主な個展

- 2021 ゆらぎの連鎖、TAKU SOMETANI GALLERY、東京
2020 いとなみの旋律、アートゾーン神楽岡、京都
2019 Morpho -iconogenesis, TAKU SOMETANI GALLERY、東京
2018 Ryo Nishimura Solo Exhibition -Moments-, TAKU SOMETANI GALLERY、東京
NISHIMURA Ryo First Solo Exhibition at The Tolman Collection, The Tolman Collection Tokyo、東京

主なグループ展

- 2020 Kyoto Art for Tomorrow 2020 -京都府新鋭選抜展-、京都府文化博物館、京都
KINO PRINT 2020、ギャラリーヒルゲート、京都
第19回南島原市セミナーヨ現代版画展、南島原市ありえコレジヨホール、長崎
こえる、境界線、Studio10 m² / no-mu、京都
銅版画工房のカレンダー展 2021、OWL 美術研究所 / 京都トアロード画廊、京都
2019 KINO PRINT 2019、ギャラリーヒルゲート、京都
ことだま - 浮上と持続 - 北浦雄大 / 西村涼、現代美術 艸居、京都
Groupe exhibition “KY0”、美濃屋町町家、京都
AFAF AWARDS 2019、福岡アジア美術館、福岡
第8回 FEI PRINT AWARD 入選作品展、FEI ART MUSEUM YOKOHAMA、神奈川
LINES, eN arts、京都
2018 京都市立芸術大学作品展、京都市立芸術大学、京都
第17回南島原市セミナーヨ現代版画展、南島原市ありえコレジヨホール、長崎
第12回大学版画展受賞者展、文房堂ギャラリー、東京
第62回 CWAJ 現代版画展、ヒルサイドフォーラム “代官山”、東京
なくなりそうなことば vanishing words in the world, +Iart、大阪
銅版画工房のカレンダー展 2019、シェ・ドゥーヴル、大阪

受賞

- 2020 第19回南島原市セミナーヨ現代版画展 朝日新聞社賞
2019 AFAF AWARDS 2019 ギャラリスト賞
2018 京都市立芸術大学作品展 大学院市長賞
第17回南島原市セミナーヨ現代版画展 長崎新聞社賞
ヤングプリント・プリントメーカー賞
2017 第16回南島原市セミナーヨ現代版画展 準大賞（渡辺千尋賞）
2016 京展 京展賞
第10回高知国際版画トリエンナーレ展 日和崎尊夫賞
京都銀行美術研究支援制度
第42回全国大学版画展 町田市立国際版画美術館収蔵賞
2016 第41回全国大学版画展 町田市立国際版画美術館収蔵賞

Public Collection

町田市立国際版画美術館、東京
セミナーヨ版画祭実行委員会、長崎
いの町紙の博物館、高知
京都銀行、京都
Los Angeles Museum of Art (LACMA) ロサンジェルス
京都市立芸術大学、京都
ハーバード美術館 (Harvard Art Museums)、ケンブリッジ
ポートランド美術館 (Portland Art Museum)、ポートランド

本展に関するお問合せ

GALERIE ASHIYA SCHULE ギャラリーあしやシュール

〒659-0016 兵庫県芦屋市親王塚町3-11 tel/fax 0797-20-6629

mail: info@ashiyaschule.com / galerieashiyaschule@gmail.com

web: www.ashiyaschule.com